

下り坂での前車の急ブレーキ

事故を未然に防ぐためには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し、的確に回避することが必要です。予測される危険や、危険を避けるための運転について考えてください。



交通状況

- 日中、やや勾配のきつい下り坂を前車(トラック)に追従して走っています。
- 配送に向かうため荷物を満載しています。
- 対向車線で登坂走行中のトラックを、二輪車が追い越しをかけたのが見えます。
- 前のトラックのブレーキランプが点灯しました。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

- A**
- 対向車線の追い越し中の二輪車に注意を奪われると、前車の動静把握に一瞬のスキができます。
 - 下り坂で、さらに積み荷が満載だと、制動距離が平坦な場所の空荷の時より長くなる恐れがあり、前車が急ブレーキをかけると追突する危険性があります。
 - 自車が急ブレーキをかけると後続車に追突される恐れがあります。



このような運転を！

- A**
- 前車もトラックであるため、前方の交通状況が分かりません。前車が急停車しても手前で止まれるよう車間距離を十分にとりましょう。また下り坂で積み荷がある時は、一層注意して走行しましょう。
 - 衝突被害軽減ブレーキシステムが装着された車であっても、条件によっては衝突を回避できない場合もあることを理解して、装置を過信せず、安全な運転を心がけましょう。